

群馬つつじ会だより

(臨時号)

第27号

発行 平成28年12月1日
群馬県精神障害者家族会連合会
(群馬つつじ会)
〒371-0843
群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉総合センター7F
TEL 027-289-9647
FAX 027-289-9648
E-mail gunmatutuji_k@ybb.ne.jp



群馬つつじ会 第30回記念総会開催

平成28年5月13日(金) 群馬県社会福祉総合センター

家族会員の智恵を出し合い、より活発な活動を！

会長 吉邑 玲子



挨拶をする吉邑会長

本年は30周年を迎えての総会となりました。

半年の役員活動の感想は、県下16単会の活動あつてのつつじ会連合会の存在ということです。そして、今年度より独立して広くなった事務局を活用し、事務局を核として活動していく予定です。賛助会員の依頼を昨年度末から始めました。ご協力いただく方々が少しずつ増え感謝申し上げます。

今年度の活動は、従来通り県の委託事業の家族相談会2回(伊勢崎・吾妻地区)と、家族相談を念頭においたりーダー研修会は、カウンセリングの学習を予定しております。

会の活動の骨子として

- ①県連つつじ会と単会においては、行政と関連団体の連携により、問題解決の道を探る。
- ②JR賃金半額を始め、他の障がい者団体との同等な権利を獲得するため努力する。
- ③啓発活動の一環として、県内看護・福祉学校に精神障がい者の理解を求め、講話に出向く。
- ④9月13日の関東ブロック大会の当番県として「みんなが元気になれる家族会活動」をスローガンに準備中。特に、シンポジウムに向けてアンケートを配布し、求めるニーズを掘り起こし中である。

会員の皆さんの応援をお願い致します。

記念講演会

「家族会活動を飛躍的に発展させるための3つの提案」



お話をする伊勢田先生

伊勢田堯先生(代々木病院精神科・榛名病院・心のホームクリニック世田谷非常勤講師)をお招きして、「家族会運動を飛躍的に発展させるための3つの提案」というテーマでお話をお伺いしました。第1部：わが国の精神医療保険福祉政策の行き詰まり、第2部：海外から学ぶ行き詰まり解消の方向性、第3部：家族会運動への3つの提案。その1：精神保健改革に大志を！その2：急がば回れ！発病したばかりの当事者・家族を支援する早期介入サービス導入が日本を変える早道。その3：人生の行き詰まりを解消する支援を！症状の有無にかかわらず、当事者をヒト

(人間)として見る。というお話でした。

先生の熱い思いが、会員に伝わり、大変良い講演会となりました。

30周年記念表彰



表彰者：森下雄三様
櫻井由治様、大澤佳美様
弦巻不二江様、松本勝代様

みんなねっと関東ブロック大会 in 群馬

9月15日（木）群馬県社会福祉総合センターにて「みんなねっと関東ブロック大会 in 群馬」が行われました。参加者数338名と会場満席の大盛況で、中身も大変濃いものとなりました。

「大会プログラム」

9時50分～10時05分 オープニングセレモニー「ゴスペル斉唱」ホープガーデン
 10時10分 【開会式】 開会挨拶 群馬県精神障害者家族会連合会会長 吉邑玲子
 主催者挨拶 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会 本條義和
 来賓挨拶 群馬県知事 大澤正明 氏
 前橋市長 山本 龍 氏

10時30分～12時 【午前の部】
 講演「土曜学校20年のあゆみ～その気になれば子どもも変わる～」
 講師：浅見隆康 氏（群馬県こころの健康センター所長）
 及び土曜学校参加者家族・当事者

12時～13時 【昼食・休憩】
 13時～15時30分 【午後の部】

シンポジウム「家族を支援する立場から」
 座 長 福田正人 氏（群馬大学 大学院医学系研究科 神経精神医学 教授）
 シンポジスト 蔭山正子 氏（大阪大学 大学院医学系研究科 統合保健看護科学分野 准教授）
 〃 池淵恵美 氏（帝京大学 医学部精神神経科学講座 主任教授）
 〃 吉邑玲子（群馬県精神障害者家族会連合会（群馬つづじ会）会長）

15時30分 【閉会式】
 次回開催（埼玉県）挨拶
 閉会挨拶

2016 みんなねっと 関東ブロック大会 in 群馬

～みんなが元気になれる家族会活動～

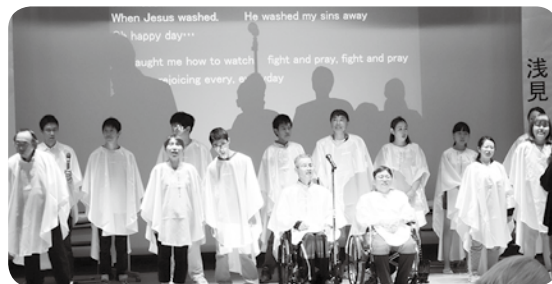
日時 2016年9月15日(木) 9:00受付開始～16:00
 会場 群馬県社会福祉総合センター8F

主催 群馬県精神障害者家族会連合会(群馬つづじ会)
 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)

後援(順不同) 群馬県・前橋市・群馬県社会福祉協議会・群馬県精神科診療連携協議会・日本精神科医会群馬支部
 群馬県保健福祉協議会・群馬メンタルヘルスネットワーク・群馬県精神障害者社会福祉協議会
 群馬県精神保健福祉士会・地域メンタルヘルスの会・上毛新聞社



司会者 小川理事



ゴスペル斉唱

オープニングセレモニーは、ホープガーデンの皆さんの「ゴスペル斉唱」でした。障害者の皆さんの楽しい雰囲気が会場に伝わり、温かい気持ちになりました。

2016「みんなねっと関東ブロック大会 in 群馬」に向けてのアンケート結果（274名）

複数回答

家族の年齢	20代	1人	30代	7人	40代	5人	50代	36人	60代	92人	70代以上	106人
当事者の年齢	20歳以下	2人	20代	26人	30代	76人	40代	92人	50代	30人	60代	21人
当事者との関係	親	86%	子	4%	夫婦	4%	兄妹	6%				
病名	統合失調症	77%	うつ・そう	14%	発達障害	6%	その他	3%				
住まいの場	親と同居	71%	パートナー	9%	グループホーム	5%	入院	5%	親戚	1%	一人暮らし	6%
昼間の居場所	自宅	47%	デイケア	16%	病院	7%	就労	23%	その他	7%		
就労している方の年齢	20代	10人	30代	26人	40代	19人	50代	5人				
発病しての年数	2年以内	7人	3～5年	16人	6～10年	36人	11～20年	144人	21～30年	37人	31年以上	7人
途方に暮れての頼みどころ	占い	14%	新興宗教	6%	行政	46%	医療	25%	その他	9%		
当事者から受けた暴力	身体	26%	精神	44%	物品破壊	36%	無	22%				
相談相手	友人	14%	肉親	21%	専門家の支援者	46%	医師	14%	その他	3%	無	2%
病気と告知された時	偏見	96人	覚悟	67人	希望	137人	自殺	17人	その他	7人		
当事者の入院方法	本人	53人	家族協力	109人	警察	39人	民間業者	3人	保健所	20人	入院なし	46人
相談機関の活用	行政機関	94人	家族会	207人	ボランティア団体他	17人	医療	46人				
主治医との信頼関係	有	58%	無	3%	どちらとも言えない	39%						
当事者への今後の希望	生活	134人	受容	77人	趣味	31人	友達	56人	就労	90人		

【開会式】



本條理事長 挨拶

シンポジウム～家族を支援する立場から～



座長の福田先生

講演会と家族の発表

「土曜学校20年のあゆみ」と題し、浅見隆康先生の講演が行われました。専門職を交えた土曜学校の20年のあゆみは、SSTを基本に学んで変わっていく家族の様子をお話し下さいました。その実践例として、参加者家族の父と統合失調症の息子さんが対話形式で話されました。そのお互いを尊重したやりとりに、聴衆からは、感嘆の声が聴かれ、特に親の当事者への対応の仕方という点で好評でした。

シンポジウムは、福田正人先生の「家族の力と社会の力」、蔭山正子先生「家族への暴力は精神障害者からのSOS」、池淵恵美先生「ご家族の力を高める工夫」、吉邑会長「家族会アンケート集計結果」の各発表が行われました。

その後、座長の福田先生を中心に、家族のアンケート結果を踏まえ、支援者の立場から先生方からメッセージを頂きました。「大変だろうけど、無理をせずSOSを出し、幅広い支援者を作る」と。大会後のアンケートには、会員のアンケートの家族の思いの発表と、先生方の実のあるお話しに賛辞が述べられました。



お話しをする浅見先生



シンポジスト 吉邑会長、池淵先生、蔭山先生



発表する父子

【閉会式】

来年度の当番県は埼玉です。平成29年11月2日(木)の予定です。どうぞよろしくお願いいたします。



挨拶 松岡副会長



精神障害への理解を深めた大会

アンケートによると、障害の治療を開始後、家族会などの「支援者」とつながりを持つまでにかかった期間は2～5年と答えた人が85人で最多だった。6～10年は45人、11～15年は19人で、1年以上は42人とどまつた。結果を受けて行われたパネルディスカッションで、群馬大大学院の福田正人教授は「当事者や家族をさまざまな立場から少しずつ支援する人がいることが

精神障害者の家族ら交流

支援情報届きにくい

前橋で
関東大会 アンケート結果発表

精神障害者の家族や支援者が集まり、障害への理解を深めたり交流を深める「みんなねっと関東ブロック大会」が15日、前橋市の県社会福祉総合センターで開かれた。県内の精神障害者の家族247人に実施したアンケート結果も発表され、家族に支援の情報が届きにくく、孤立しがちな現状が明らかになった。

望ましい」と指摘。帝京大の池淵恵美教授は「当事者を支える力は家族が一番だが、根を

切だ」と話した。大会の本県開催は7年ぶり、県精神障害者家族会連合会(群馬つつじ会)などが主催した。障害の当事者や家族が集まる「土曜学校」を20年続ける浅見隆康・県こころの健康センター所長の講演も行われ、約330人が来場した。

賛助会員を募集しています

群馬県精神障害者家族会連合会では、この会の活動にご賛同いただける一般の方、及び関係機関の方などへ、賛助会員としての入会を呼び掛けています。ぜひ当会の活動をご理解いただき、たくさんの方がご協力くださいますようお願いいたします。

なお、お問い合わせは群馬つつじ会事務局までお願いします。

賛助会費一口2,000円

賛助会員のご紹介(順不同・敬称略)

団体

- 上之原病院・田中病院・武田メンタルクリニック
- 利根中央病院・柴田メンタルクリニック・上毛病院
- つつじメンタルホスピタル・西毛病院・厩橋病院
- 群馬病院・サンピエール病院・下横町メンタルクリニック
- 大島病院・武蔵野病院・華蔵寺クリニック・大井戸診療所
- NPO法人 ぼれぼれ・わくわくミサト・(社福) 明清会
- NPO法人 はたおと・(社福) 日輪・NPO法人 山脈
- (社福) プライム・群馬県精神神経科診療所協会
- (社福) ゆずりは会・株式会社希望舎

個人

- 浅見隆康・福田正人・長谷川憲一・伊勢田堯・武田滋利

2016 みんなねっと関東ブロック大会 in 群馬 出席者表(実績)

	区分	合計
群馬 (166)	群馬つつじ会会員	96
	一般(会員外)	25
	来賓・県職・講師	14
	ボランティア	6
	作業所・関連団体	25
県外 (172)	茨城	58
	栃木	36
	埼玉	36
	東京	22
	千葉	8
	神奈川	9
	作業所・関連団体	3
	総合計	338

＜編集後記＞

今回は関ブロ大会 in 群馬が行われましたので、その臨時号を発行いたしました。非常に内容の濃い大会になったと思います。総会と共に、今号において内容の一部をお伝えすることが出来たらと思います。

(岡部)